

## 海野 厚詩文集の刊行に際して

「背くらべ」「おもちゃのマーチ」といえば、子どもの頃この童謡を歌わないで育った人はまずないと思います。しかし、この童謡が、静岡市の生んだ童謡詩人海野厚の作品であるということは、それ程知られていないと思われます。海野厚は、これらの童謡をはじめ、俳句、随筆、詩、小説、手紙など、数多くの作品を残し、若くして亡くなられました。このたび、これらの作品を各ジャンル別にまとめ、更に年譜と写真類も加え、詩文集として刊行する運びとなりました。年譜にも記されていますが、海野厚は、本名を厚一といい、明治二十九年に現在の静岡市曲金で生まれています。そして、その作品には、明治、大正時代の静岡の土地のにおいが随所にたちこめていて、とくに童謡はその殆んどの作品が、幼児から少年期を過ぎた曲金の生活から生まれているといわれています。

有名になることを嫌ったといわれる海野厚ですが、このように郷土の人々のご好意により、一冊の本として作品集が刊行されたことには、おそらく地下で喜ばれていることと思います。

この海野厚詩文集が、静岡だけでなく、全国各地の多くの方々に読まれ、その人と作品が広く紹介されることを願う次第です。

昭和五十八年二月一日

静岡市教育長 渡 邊 福太郎